

## 鎌倉市教科用図書採択検討委員会（第2回）会議録

- 日 時 令和5年(2023年)7月7日(金) 14:00開会  
17:00閉会
- 場 所 鎌倉生涯学習センター 第5集会室
- 出席者 石川委員 關根委員 河野委員 鈴木委員 小日山委員  
佐藤委員 津田委員 伊藤委員 永瀬委員 芳賀委員
- 事務局 太田教育指導課長 濱地指導主事 石坂指導主事 永井指導主事  
齋藤指導主事 村田指導主事 竹下指導主事 赤山指導主事  
露木指導主事 福森指導主事 荒川指導主事 岩田指導主事  
松山社会教育主事
- 次 第 1 開会  
2 種目ごとの説明、協議等  
(1) 調査員会の説明及び検討、協議等  
(2) 今後の日程  
3 閉会

## 会議内容

委員長 鎌倉市立小学校令和6年度(2024年度)使用教科用図書採択検討委員会の第2回委員会を開催する。本日の議事録署名委員を小日山委員と永瀬委員にお願いするがよいか。

委員 よい

委員長 それでは、本日の流れについて事務局から説明をお願いします。

事務局 次第をご覧いただきたい。では、説明させていただきます。本日の半日日程と21(金)の全日日程で、これまでの調査員会にてまとめられた調査員報告書などを元に、検討してまいります。

検討種目の順番だが、協議時間を考慮し調査報告書目次順を入れ替えて協議を行いたいと思う。

次に、会議の流れだが、種目ごとに資料の確認した後に、種目担当指導主事より調査員報告について説明させていただく。その後、その報告についての質疑をいただく。調査研究の後、種目ごとに協議・研究に入らせていただく。

委員長 今事務局から説明があったが、ご質問はあるか。

委員 (無しの声)

委員長 では、事務局 資料の確認をお願いします。

事務局 本日用意した資料は、令和6年度(2024年度)使用教科用図書採択検討委員会調査員会種目別調査資料は、神奈川県教育委員会小学校用教科書用図書調査研究の結果、令和6年度(2024年度)使用小学校教科書編集趣意書、学校調査票のまとめである。以上の資料は、御机上に配付している。

また、教科書見本本、学習指導要領については、入り口付近のテーブルに用意した。以上が本日の調査研究の資料となる。

なお、参考として、昨年度までの、「令和4年度全国学力・学習状況調査」の分析結果、「かまくらっ子」の実態調査、「かまくら教育プラン」も用意した。

続いて、資料について簡単に説明する。

まず、鎌倉市調査員会種目別調査資料は、調査員会の報告であり、のちほど担当の指導主事より説明させていただく。

続いて、神奈川県教育委員会小学校用教科書用図書調査研究の結果は、神奈川県教育委員会が神奈川県教科用図書選定審議会からの答申を受け作成されている資料である。

学校調査票は、5月15日から市内小学校16校に見本本の巡回展示し、調査用紙にある「共通な観点」、「教科・種目別の観点」、「本校児童にふさわしいか」という3つの観点で各校が調査研究したものについてまとめたものである。

教科書展示会については、鎌倉市教育委員会を会場に7月10日から7月16日までの7日間で一般市民を対象に教科書各種目見本本、趣意書、採択の流れ、教科書目録、採択方針などを展示する予定である。

なお、教科書展示会での「市民の声のアンケート」については、第3回の検討委員会にてご覧いただくようお願いする。

以上。よろしく願います。

委員長           ここまででご質問はあるか。

では、事務局からの調査員会での内容説明の前に、本委員会で作成する報告書の総合評価について、第1回の検討委員会で確認した内容を改めて確認する。

評価については、検討結果の欄に◎と○を合わせて3つまで付すとし、それぞれの種目ごとに、協議・検討し決めていくこととする。○は 鎌倉の生徒にふさわしいと検討委員会で判断した教科書。さらに、◎は 鎌倉の生徒によりふさわしいと検討委員会で判断した教科書とし、それ以外の教科書については記号を付さないこととする。

以上、確認する。

委員           調査員の作成した資料について、各種目とも短期間にもかかわらず、調査研究の結果をしっかりとまとめていただいていることと思う。

各教科・種目の先生方が調査をし、まとめたこの資料を重視し、併せて県や学校からの調査内容も参考にして、鎌倉の児童たちにふさわしい教科書を選んでいければよいと思う。

従って、この資料の文言について、意見交換していく中で評価をつけていくような協議の進行でどうか。

委員長           今、協議の進行について意見が出たが、いかがか。

委員           異議なし

委員長           他に質問・意見はあるか。

委員           異議なし

委員長 それでは引き続き調査報告についてお願いします。

事務局 では、調査資料について説明する。5月11日開催の採択検討委員会の指示を受け調査員に「県の採択方針にある調査研究の観点に基づき、種目ごとに特徴的なことを記述する」という内容を確認した。

また、調査員が個人の立場でなく、種目別に調査員会として調査資料を作成する。種目ごとに調査員全員がすべての教科書の調査・研究にあたり、全員の総意として資料を作成する、ということで報告書をまとめることとした。

5月19日、6月8日、29日の3回調査員会を開催し、取りまとめることができた。

種目別の調査資料については、担当指導主事から説明させていただく。

検討時間等を考慮し、報告書の順番を入れ替えて報告する。

委員長 では、1種目15分～20分程度を目安に、6種目程度の検討を目標にできればと思います。まず、国語の担当の方をお願いします。

事務局 国語について説明する。

まず東京書籍について説明する。

平仮名は一画で書くことができるものから扱われている。漢字の練習問題や一覧をQRコードで読み込むことができ、自分で調べたり練習したりできる。「話すこと・聞くこと」の単元では、学習の流れが明確に示され、話し方や話し合いの例を動画で見ることができる。「読むこと」では、低学年では動物が出てくる親しみやすい物語や説明文が多く、高学年では現代的諸課題に関連の深い説明文を多く取り上げている。

物語文等の関連の本の紹介に加え、各学年の「本は友達〇年生の本だな」では、見開きで4ページにわたっておすすめの本が写真と文で紹介され、夏休み前の時期にたくさんの本に興味をもてる構成になっている。

続いて、教育出版社について説明する。

言葉の学習では、物語や説明文など長文教材の後に本文に出てきた漢字や言葉を使って分を作り、語彙を増やせるようにしている。全学年巻末に「言葉の木」があり、テーマを設けて言葉が集められ、語彙指導に使えるようになっている。

「話すこと・聞くこと」では、児童にとって身近な必要感のある課題を設定している。「読むこと」では、単元扉に学習のめあてが示されていて、最後にふりかえりや学ぶ上での大事なポイントの記述がある。「書くこと」では、「大事な言い方」が記載され、活用して文章が書きやすい。段落ごとに何を書いたらよいか例文が示されていて、分かりやすい。

次に、光村図書について説明する。

物語文では、長く親しまれてきたものが多く、情景や心情について想像を広げながら読みやすい。説明文では、2教材構成で、1教材目で構成等を学び、2教材目ではその学習を活かして自力で読む・書くなど段階的に学ぶことができる。「話すこと・聞くこと」の單元では、自分ごととして考えられる話題が提示されており、興味をもって取り組みやすい。

伝統的な言語文化の教材が多く「きせつの言葉」など、児童が日本古来の言葉の語彙を増やす工夫がされている。最後にふりかえりや学ぶ上での大事なポイントの記述がある。巻頭に「この教科書で学習するみなさんへ」と「国語の学びを見わたそう」として学び方や学びの流れがわかるページがあり、自ら見通しを持って学ぶことができる工夫がされている。

委員長        それでは質疑のあるかた。

委員            なし。

委員長        協議に入る。

委員            光村図書で、伝統的な言語文化の教材が多いとあるが、具体的にどのようなものか。

事務局        古典や、「季節の言葉」のなかで日本古来の気候など、季節の言葉が出てくる。

委員長        ご意見はないか。

委員            光村図書は、文章を書く構成がわかりやすい。構成ごとの要約が1ページにまとまっており明確に書かれている。書く所の構成が指導者側としてもわかりやすい。

委員            光村図書は、説明文を学んだあとに、関連付けた文書を書かせる構成になっており、学習のつながりがわかりやすい構成になっている。

東京書籍も、読むことから書くことに繋がっているのだが、そこまで関連が深くないように思う。

委員            3者とも、主体的に学習しやすいよう見通しを持つことから振り返りまで学習の流れが良く工夫されている。

東京書籍は、「見通す」、「取り組む」、「振り返る」、とポイントを抑えている。流れがルーティーン化されていて見通しを持ってやすい。

光村図書は「問いをもとう」と、「目標」が分かれている。子どもがどんな考え方でどんなことを意識しながら取り組めばいいかわかりやすい。

委員 教育出版では、付録の資料で子どもにとって身近な鉛筆で書かれているような字体があり、親しみやすい。

委員 教育出版では、「見通しをもとう」については「確かめよう」「詳しく読もう」「まとめよう」「ふりかえろう」4つに別れている。1年生は一つのページ納められており、子どもにとって見やすく、学習の流れが見開き一つにまとめられ見通しが持ちやすい。

委員 東京書籍や光村図書はある。巻頭に学び方が出ているのはわかりやすい。特に光村図書は見やすい。

委員 光村図書は、構成分量ついて目次でわかる。何年生で学んだ所、既習事項がわかり、再認識ができるのは良い。

委員 大きなかぶが共通で乗っていたが、教育出版だけロシアの話記載されていた。外国の話なのだと、好奇心がわくのではないか。

委員 3者ともユニバーサルデザインのフォントを使用しているが、光村図書、教育出版は色に気をつけている。色、フォントなど見やすい。

委員長 ひとつおりの意見がでた。では、ここでまとめに入る。委員のご意見のなかでは、光村図書の意見が多く出た。光村図書を◎、東京書籍と教育出版を○でよいか。

委員 よい

委員長 では、◎は光村図書、東京書籍と教育出版を○とする。  
続いて書写の担当の方お願いします。

事務局 書写について説明する。

まず、東京書籍について説明する。

2年生以上では巻頭に「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返ろう」「生活に広げよう」のキーワードで書写の学び方が明示されている。タブレットの字形シミュレーションを使って文字のバランスや配列を自分で操作して変えることができ、児童が興味関心を持って学習に取り組める。

巻末に系統的に整理したその学年までの学習事項のポイントを1・2年生は「○年で学習すること」3年生以上は「書写のかぎ」として示してある。巻末に学習してきた内容が

「〇年生のまとめ」として端的にまとめられ、その学年の振り返りや発展学習がしやすくなっている。

続いて、教育出版社について説明する。

2年生以上では巻頭の目次に「〇年生で学習すること」として、その学年で学習することが見開きでまとめられ、1年間の見通しをもつことができる。

3年生以上の毛筆では「平等」「平和」など人権意識が高まる教材を各学年で掲載している。身につけた書写の力を他教科の学習の「どの場面で」生かせるのかがわかる教材が豊富に掲載されている。

3年生以上には「文字の世界」として、平仮名のもととなった漢字、他言語の文字などについて紹介され、文字についての興味関心を高められるようにしている。

つぎに、光村図書について説明する。

巻頭に、「はじめにたしかめよう」「学習の進め方」、姿勢、持ち方、点画の種類などがイラストや写真入りでわかりやすく書かれ、主体的に書写が学べる工夫がなされている。

1～3年生では文字のポイントを、動物のキャラクターのイラストのポーズや動画で視覚的につかみ、楽しく取り組むことができる。

2年生で原稿用紙の使い方が丁寧に説明してあり、児童が原稿用紙の使い方をわかりやすく学ぶことができる。

「友情」「感謝」「旅立ちの朝」等、児童が親しみやすい、掲示したくなるような言葉を教材文字に多く扱っている。

委員長        それでは質疑はあるか。

委員            東京書籍、教育出版の左利きへの配慮とあるが、何年生のどのページにあるのか。

事務局        共に、1年生の鉛筆の持ち方のところに掲載されており、特に東京書籍は写真が大きく掲載されている。

委員            では、協議に入る。

委員            左利きの配慮について、東京書籍と光村図書は手の置き方が載っている。教育出版はない。

委員            東京書籍の字形シミュレーションは、字形が確かめられるので良い。

- 委員 教育出版の、人権に配慮とは、どの文字のことか。
- 委員 3者を比較すると教育出版が人権に対する意識が高い。
- 委員 光村図書は、1年生の裏表紙に「しょしゃのやくそく」を絵で示しており、姿勢などがわかりやすく、子どもにとってわかりやすい。
- 委員 光村図書は、動物のキャラクターを使い視覚的、体感的に字をつかむことができ、低学年は親しみやすい。
- 委員 光村、著名人の直筆の文字、誰の文字なのか？
- 事務局 池江梨香子氏、市川染五郎氏、細田守氏、ヨシタケシンスケ氏の文字である。直筆が書かれており、文字で人となりが見えていていい。
- 委員 光村図書は、元気あいさつ、明るいい心、何にでもチャレンジ、元気にあいさつなど、親しみやすい言葉が多い。
- 委員 3者とも、はらい、とめ、などの動画があるが、光村図書だけアングルを変えていて、筆圧や筆の運びなどがわかりやすい。
- 委員 教育出版の4年生で、新聞の書き方や、校外学習での聞き取りメモの書き方、理科のノート等、教科や生活に密着したものがありよい。
- 委員 教育出版、毛筆が硬筆に繋がるのが書かれており、なぜ毛筆を学ぶのかがわかりやすい。
- 委員長 まとめに入る。光村図書の意見が多く出たので◎は光村で、東京書籍が○でよいか。
- 委員 良い
- 委員長 では、◎光村図書、○が東京書籍ということで報告したいと思う。続いて社会の担当をお願いします。
- 事務局 社会について説明する。  
まず、東京書籍について説明する。



4年「日本地図を広げて」では、都道府県の形から都道府県名を探す活動があり、児童の興味関心をひく内容になっている。

5年（上）では、各単元の導入の課題が明確で、指導しやすくなっている。また、導入課題が児童の身近な内容になっている。

5・6年生の教科書が、2冊に分かれている。

児童が知っているキャラクターを使って、見方・考え方に注目させている。

続いて、教育出版について説明する。

3年「わたしたちのまちと市」では横浜市、4年「わたしたちの県のまちづくり」では神奈川県箱根寄木細工など、神奈川県事例の記載が多く、児童が身近に感じながら学習できるように工夫されている。

文章や図、グラフ等をバランス良く使い、歴史上の出来事に関して、分かりやすく説明している。

4年の選択単元では、選択肢が複数あり、選びやすいようになっている。

「社会科で使う見方・考え方」について、例をあげて記載し、見方・考え方を意識できるようになっている。

続いて、日本文教出版について説明する。

5年「工業生産」で色々な製品が大きな写真と文章で提示されている。

歴史の事実について、因果関係などを詳しく説明している。意見の分かれるものに関しては、様々な意見を紹介している。

まとめのページでは、「深め合い」活動の例を載せ、学習のイメージを持つことができるようにしている。

「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」のページがあり、社会問題と関連付けて考えられるよう構成されている。

委員長      それでは質疑のあるかた。

委員          なし。

委員長      協議に入る。ご意見いかがか。

委員          県の調査研究結果の8, 9ページにある、神奈川県に関する主な文書や写真・グラフの掲載について3社比較の比較があるが、教育出版がとても多い。鎌倉の子どもたちにとって身近なのは教育出版であると考えます。

委員 藤沢市のことも取り上げている。かなり子どもたちの関心をひく。

委員 教育出版は。鎌倉街道や朝比奈の切り通しなどが掲載されている。鎌倉が取り上げられているのはうれしい。

委員長 他にはいかがか

委員 東京書籍は2冊に分かれているが、社会は政治や歴史が繋がっているのも、分かれな方がよい。他社は歴史と政治が繋がっている。教育出版の「次につなげよう」は流れよく授業が進めやすいのではないかな。

委員 教育出版は災害の単元で火山や水害などを選べるのは学習を深められるという点でよい。

委員 東京書籍や日本文教出版の意見はあるか

委員長 東京書籍には、「日本地図を広げて」で都道府県の形を取り扱っており、i P a dにはパズルゲームがある。教科書の学習とつながる。

委員 日本文教出版では、3年生の後半にSDG s シールがある。学習しながら身近なものやニュースを調べていくときに、関連事項をシールを貼るなど色々な使い方ができ、SDG s を学習に活かしやすい。

委員 QRコードやデータでよいものはあるか。

事務局 QRコードについてはそれぞれ特徴が違う。日本文教出版はNHK for schoolに接続される。他社はワークシートや、学習計画に接続されるようになっている。

委員 日本文教出版はコラムで、トルコの人々を日本が救った実話が掲載されている。子どもたちが国際社会に出たときに知っておいたほうがよい情報が載っていてよい。中学生になるにあたって歴史と未来をつなぐエピソードが紹介されているところがよい。

委員 6年の教育出版では、昔の写真が白黒ではなく、カラーに直してあり見やすい。幕末の写真もカラーで掲載されている。白黒に比べると臨場感がある。歴史を自分ごとに捉えられる。表情なども分かりイメージがしやすい。

委員 東京書籍と教育出版には話し合いの際の感染症に配慮した内容が載っているところが良いと思う。

委員 東京書籍は「つかむ」「調べる」「まとめる」の学習の流れが大きく表示されていてとてもわかりやすい。

委員長 一通り意見がでたのでまとめに入る。委員のご意見のなかでは、教育出版の意見が多かったので、教出が◎で、東京書籍と日本文教出版は両方○で良いか。

委員 良い。

委員長 社会はこれで終了する。  
続いて地図の担当をお願いします。

事務局 地図について説明する。  
まず、東京書籍について説明する。

「日本の歴史」のページでは、世界との関わりにおける日本の歴史が掲載されていて、諸外国と日本の歴史的な関係が示されている。

主な漁港と水産物の水揚げ量などが、魚の図などによって具体的に表現されている。漁港の様子なども図で確認できるようになっている。

「日本の自然」のページでは、日本と世界のおもな山や川、湖等が並べて表現されており、日本のものと世界のものの特徴を比較しやすくなっている。

各地方の特産品のマークだけでなく名称を細かく掲載し、細かい地名まで掲載されている。

続いて、帝国書院について説明する。

「いろいろな地図記号」のページでは、元となったイラストがあり、成り立ちから詳しく説明されている。

「日本の自然災害と防災」のページでは、災害の紹介をするだけでなく、備えや取り組みなどについても学ぶことができるようになっている。

「地図のやくそく」と「地図帳の使い方」が、大きな図と簡潔な言葉で分かりやすく掲載されていて、理解しやすくなっている。

「広く見わたす地図」と詳しい各地方の地図が分けられており、構成が見やすくなっている。

委員長 それでは質疑はあるか。

- 委員 なし。
- 委員長 協議に入る。
- 委員 帝国書院の「地図のやくそく」では、地図記号の成り立ちや宝探しに挑戦など、導入部分が楽しそうで子どもたちの興味をひく。
- 委員 東京書籍は地図記号の説明が言葉で載っている。
- 委員 帝国書院の「日本の歴史」に鎌倉の切通しの写真が掲載されており、鎌倉子どもたちは、誇らしく思えるのではないかと。
- 委員 東京書籍の「日本の歴史」では、日本と世界の関わりや領土の変遷が見やすく載っているので、地図帳でありながら歴史の授業でも扱える。
- 委員 ずっと読んでいたのは東京書籍である。読み物として面白い。
- 委員 東京書籍は、日本の中の世界遺産やお祭り、特産品が地図に載っている。交通網について通るルートなども載っており、ガイドブック的な感覚で楽しめる。
- 委員 見ていて楽しいのは東京書籍、防災など大きく掲載されており見やすい。地図の精度はGoogleマップでも見られるので、情報が豊富なのは良い。
- 委員 同じ地域を開いたとき、帝国書院は一般的な情報だが、東京書籍は料理に特化するなど子どもたちの興味が広がるようなテーマを設定している。
- 委員 帝国書院の「地図マスターへの道」、東京書籍の「マップでジャンプ」を比べると調べてみようかと思うのは東京書籍だと考える。問いの出し方が、地図を見る力をつけるような構成となっている。
- 委員 子ども目線では色々な興味が湧く方が自然と世界や日本の各地に引き寄せられる。多面的に学ぶことを考えれば東京書籍が良い。
- 委員 興味を持つとすぐにGoogleアースを開くので、興味を持てるのは良い。

委員長 では、ここでまとめに入る。委員のご意見のなかでは、東京書籍を◎として良いか。

委員長 では、東京書籍を◎、帝国書院を○としてよいか。

委員 よい

委員長 地図はこれで終了する。  
続いて音楽の担当をお願いします。

事務局 音楽について説明する。  
まず、教育芸術社について説明する。  
児童の音楽的な見方、考え方が働く活動文が示されており、「見つける」「考える」「表現する」を関連させながら学びを深めることができる。  
学習指導要領の[共通事項]に示されている「音楽を形づくっている要素」が「ふり返りのページ」にまとめられ、既習に戻ることができる工夫がされている。  
「地域に伝わる音楽でつながろう」では、学年ごとに日本の様々な伝統音楽が示され、文化に親しむための知識や写真が多く扱われている。  
学習する楽器の写真が大きく細部まで見やすい角度で掲載され、実際に演奏する姿をイメージしやすく、楽器への関心が高まるように工夫されている。

続いて、教育出版社について説明する。

鑑賞、歌唱、演奏が何度もテンポよく繰り返し学べるよう、系統性のある題材の配列がなされ、すべての児童が楽しみながら、資質・能力を育み学べる構成になっている。

児童の気付きや思いを引き出すような「まなびナビ」による問いが示され、思考力、判断力、表現力の育成につながる記述の工夫がされている。また、児童生徒が話し合ったり、共有したりして、深い学びへとつながる支援がなされている。

学習指導要領の[共通事項]に示されている「音楽を形づくっている要素」を聴き取りやすい教材が選択されており、音楽的な見方・考え方を育むことができるよう配慮され、「まなびリンク」で学びが広がるよう工夫されている。

教科書に直接書き込みができるスペースが多く、視覚的にわかりやすく学習が進められ、まとめられるよう工夫されている。

委員長 それでは質疑のあるかた。

委員 教科書に直接書き込みができるスペースについては、どちらの出版社もあるのか。

事務局        どちらにもあるが、調査員の意見では、より考えさせると言う意味では教育出版の方が良いという意見だった。

委員        書き込みができる部分が多いというのは指導しやすいと思う。

委員        教育出版の系統性のある題材の配列とは、具体的にどこのことか。

事務局        比較であるが、教育芸術社の方は、鑑賞は鑑賞、歌唱は歌唱で固まっており3段階に分かれているような配列になっている。

教育出版の方は、鑑賞と歌唱をスパイラルでつなぐような配列になっている。

委員        教育芸術社の「音楽を形作っている要素」が「ふり返りのページ」にまとめられているというが、振り返りのページとはどこにあるのか。

事務局        例えば各学年の後ろの方に既習事項がまとまって載っているページがあり、それぞれどこで習ったかが示されている。

委員        教育芸術社の振り返りに「音楽を形づくっている要素」が、というがむしろ教育出版の方が「音楽を形作っている要素」とかは見やすいのでは

委員        教育出版について、『音楽のもと』『音楽を表すいろいろな言葉』としてまとめてあり、各学年の発達段階を考慮した図版や絵で記され見やすくなっている。

委員        同じように、3年で初めて出会うソプラノリコーダーの運指表も、教育出版の方が大きくて見やすい。教育芸術社の方がページ数はさいているが、シャープやフラットの指遣いまで3年生で載ってしまっているので発達段階に合わないのではないか。

委員        1年生の鍵盤ハーモニカについても教育出版の方が見やすい

委員        教育芸術社の低学年の鑑賞について、この曲はきっとサンドイッチ形式の曲なんだろうな、などと曲の様子が視覚的にわかりやすい。

トルコ行進曲も青赤青など繰り返されてることが挿絵から視覚的にわかりやすく、視覚に訴える挿絵が優れている。

委員 日本のおさまざまな伝統文化で、教育芸術社は「日本の歌」としてまとめてあるが、教育出版社は「季節の歌」の下に小さく日本の歌と書いてあるだけのため、日本の歌のまとまりとしては教育芸術社の方が良い

委員 教育芸術社は、伝統音楽が写真もたくさん載っていて、文化に親しむと言う点でとても良い

委員 教育出版が◎、教育芸術社が○で良いか。

委員 よい

委員長 これで本日の協議は終了しました。次回は本日の協議が終わった種目についてはまとめ、報告書を作成することになります。次回に向けて事務局に本日の協議をもとにその取りまとめをお願いしたいがいかがでしょうか。

委員 異議なし

委員長 では次回は、協議が残っている種目については、協議を続ける。  
本日協議が終わった種目については、事務局の方で報告書の原案を作成していただき、次回はそれをもとに協議を進めることとする。  
次回に協議がまわってしまった種目についても、その検討委員会中に報告書原案を作成する。

委員長 閉会の言葉  
事務局から連絡をお願いします。

事務局 本日の資料については事務局で保管する。  
第3回については、検討が終了していない種目の検討及び、事務局から報告書原案の提示を行い、種目ごとに総合評価と文章表現の確認を行っていくので、引き続きお願いしたい。

会議録署名

令和6年度(2024年度)使用教科用図書採択検討委員会

委員長 ( 石川 真喜 )

会議録署名委員 ( 小田山 理香 )

会議録署名委員 ( 水瀬 暁子 )